

# 視聴覚教育

114
NO
発行月2
60
発行 岡崎市AVL
編集委員会
広報委員会

## メディアから教育の変動がくる

視聴覚部部長 野村鉢吉

一一、一メディアの開発と普及には目を見張るものがある。そのスピードは意外に速い。OA機器だけではない。生活のすみすみまでパソコンが入りこんでしまってある。計算は電卓の方が速いように、思考と判断の大半をパソコンが代用しそうである。今、省力化、スピード化、要求に応じた個別化の波の中に居る。

生活の仕方が変われば、考え方も変わる。事物の処理が変われば、古い伝統的な思考や方法がどう進歩するかの本質は変わらないとしても、新しいを新たにしないと対応しきれなくなる。

教育はもども保守的で、文化遺産を次の世代に伝達する使命をもち、慎重なものである。そして、時代の変化に柔軟な対応をし、スピードに変革することは向いていない。一つのために、現実の変化に対し、意識や観察が遅れをとりやすい。今日では事件

のあとを追いつかなければならぬ。へたをすると後れをとり、ばかなになる恐れがでてきた。

現在、社会が大きな構造的变化をしだし、意識変動の根も深い。とりわけコンピューターがもたらしたもののが核であり、政治的、思想的イデオロギーではない。しかし、確実に人の意識を交えていく。一一、一メディアが、意識と同一歩調をとって、現在の教育方法まで変容を迫ってくるのは、そんなに遠いことではないと思えてならない。

二、一メディアの姿で、コンピューターが何を通じてくるか、時代はどう変わるか、人はどう変わるか、研究は急を要する。次の世代へのビジョンを持った教師群でないと、今後は、更に幅広く、後手後手をくり返すことになるだろう。

### ○中三理科 「生命を支える緑」(59年BK内 19分)

私たちの生命を支えている大部分が、現在や過去の光合成によって作り出されたものであることを明らかにし、自然環境について認識を深めさせる。

### 今月の教材 (16ミリ映画)

#### ○小学校年体育 「花火」(59年AK10 15分)

「力が急に爆発する感じ」の表現に花火をとりあげ、いろいろな花火の特徴を、四、六人で表現できるよう構成してある。

# 生徒の意識をゆさぶる16ミリ教材

## —道徳の授業での活用—

福岡中学校 山田 賢平

映像は人の心を大きくゆさぶるものだ、といふことを改めて強く感じた。それは、道徳の授業における16ミリ教材の視聴の記録からである。福岡中道徳部会では、本年はより充実した道徳授業の設計を目指して視聴覚教材の利用に力を入れている。

視聴覚教材を取り入れる利点には、次の二ことが考えられる。

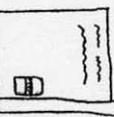
・だれもが個々にもつてゐる体験を映像によって共通化できる。

・個々の体験が映像によって具体化され、意識が深められる。

「友情」これをテーマに、中3の生徒に聞いてみた。「小学校の高学年」「ろくから中2にかけて同じ組や部活になり、気の合った子が今の友達だ。友情については、特に考えたことはない。」

16ミリ教材「友情について」を複聴した後、生徒はこんな感想を書いてきた。「ぼくには、映画で見たよつな友達はいるのかな」「ハフもいつしょにしてるだけが友達じゃない」「自分と大きいくい違つようになつた友達がいるけど、本当の友達かも知れない。」

一これからの道徳の授業が楽しみである。



## 夏期実技講習会のお知らせ

### 視聴覚教育技術者養成講習会(16ミリ映写機等)

◇ 7月27日(土)～28日(日)の2日間

◇ <勧く婦人会館> 9時～17時

◇ 16ミリ映写機の操作等(学科・実技試験あり)

◇ 16ミリ映写機操作認定証のない人(一般募集者を含む)



### ビデオ講習会

◇ 8月2日(金)～3日(土)の2日間

◇ <広幅小学校> 8時30分～16時

◇ 基本操作、ビデオのつなぎどり  
編集等自作ビデオづくり

◇ 希望される先生(一般募集者を含む)

### 校内放送講習会

◇ 8月6日(火)

◇ <六ツ美中学校> 8時30分～

◇ NHKアナウンサーによる  
校内放送講習

◇ 各校の放送担当先生と児童・  
生徒1～2名

ださい。なお、直接来館の場合は平常とあります。  
回収は翌週15日(月)までです。計画的に利用していく

一学期のフィルム配達サービスは、9日(火)まで